

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1番	11番 坂口洋之 議員	1. 本市の奨学金制度の今後のあり方について	(1) 日置市の奨学金制度の利用と返済状況は。	教育長
			(2) 経済的に厳しい状況で、5割以上が奨学金を貸与しなければ大学進学できない状況もある。現状をどのように認識しているのか。	市長 教育長
			(3) 鹿児島県が新たに日本学生支援機構の第一種の給付型奨学金制度を設けて各市町村・経済団体に基金への支援の要請があるが、本市としての考え方を伺う。	市長
			(4) 昨年9月議会で同僚議員の一般質問に対して市長は、地元の若者が残れるよう日置市独自の奨学金の構想について答弁されたが、その後の市長の考え方を伺う。	市長
		2. 障がいのある方が安心して暮らせるまちづくりについて	(1) 4月から施行された「障がい者差別解消法」の本市の基本的な考え方は。	市長
			(2) 制度の市民への周知と具体的な取り組み状況は。	市長
			(3) 熊本地震でも障がい者の長期避難が課題となったが、原発災害・大規模災害時の障がい者の避難に関するマニュアル・避難所設置・訓練等のあり方を検討すべきではないか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2番	9番 上園哲生 議員	1. 公共施設等総合管理計画が策定されたが、今後の具体的な対応について	(1) 厳しい財政運営が予測される中、高度経済成長期に建設された公共施設等の廃止、建て替え、大規模修繕等の具体的な選別及び維持管理費を含めた財源確保の在り方について伺う。	市長
		2. 大規模災害に備えた対応について	(1) 防災関連施設、特に昭和56年5月以前の旧耐震基準で建設された避難施設に指定されている施設への対応を伺う。(日置市耐震改修促進計画の進捗状況も踏まえて)  (2) 災害時の食料備蓄について伺う。	市長  市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3番	14番 大園貴文 議員	1. 県道22号谷山伊作線改良について	(1) 平成27年12月議会の一般質問で、市長は二次改良をしていかなければならない場所だと十分認識し今後、県に要望をしていかなければならないと答弁されたが、その後の進捗状況は。	市長
			(2) また、本路線の管内事故について、原因究明のために警察・消防との協議はされたのか。	市長
			(3) 併せて隣接市である鹿児島市との協議を図り、改善に向けた改良を進めるべきではないか。	市長
		2. 吹上浜アスリートの森づくり整備計画について	(1) 平成26年12月議会の一般質問で提案したキャンプ村跡地のパークゴルフ場建設について、交流人口の増加に十分期待できるとし、検討委員会に提案するとしたが計画はどうか。	市長
			(2) 吹上浜公園について、利用者が増加傾向にあり、駐車場の不足による苦情が各種団体から出ているが、整備計画は無いのか。	市長
			(3) 今後の吹上浜アスリートの森づくり整備計画の年次計画を示すべきではないか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
4番	2番 畠中弘紀 議員	1. 日置市の小中学校の事件発生等に伴う緊急連絡網について	(1) 各学校における緊急連絡網の状況と課題を伺う。	教育長
			(2) 警察・消防等、関係各機関との連携体制は。	教育長
			(3) メールによる緊急連絡網の整備について伺う。	教育長
			(4) 今後、日置市としてどのように緊急連絡網を整備していくつもりか。	教育長
		2. 日置市職員の各種休暇制度について	(1) 子育てにかかわる休暇制度とその利用状況は。	市長
			(2) 男性職員の育休制度等の利用状況は。	市長
			(3) 各種休暇制度を利用する上での課題は。	市長
			(4) 今後、職員の各種休暇制度を利用しやすくしていくために、日置市としてどのように取り組んでいくのか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5番□	3番 留盛浩一郎 議員	1. ため池の管理等について	(1) 公共施設等総合管理計画を策定し、ため池の記載があるが、地域毎の箇所数は。	市長
			(2) 計画外の市で把握しているため池が何箇所あるか。	市長
			(3) ため池からの受益地での耕作放棄地の現状は。	市長
			(4) 国は平成25年度26年度の2カ年で全国の「ため池」の一斉点検を実施したが、本市における結果はどうか。	市長
		2. 児童虐待の防止等と子どもの貧困対策について	(1) 本市における児童虐待相談対応件数は。また、内容や原因をどのように分析しているか。	市長
			(2) 本市における「相対的貧困率」の推移と全国的な状況をどうとらえているか。また、子どもの貧困率はどうか。	市長
(3) 貧困の連鎖を断ち切るために、経済的に苦しい家庭の子どもに対して学習支援を行っているが、成果はどうか。	市長			

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
6番	8番 出水賢太郎 議員	1. 地域公共交通のあり方について	<p>(1) 日置市の地域公共交通の現状と課題について、どのように分析しているか。</p> <p>(2) 交通政策基本法の制定と地域公共交通活性化再生法の改正に伴い、地域公共交通網形成計画の策定ができるが、日置市の考え方はどうか。</p> <p>(3) 地域公共交通の維持には、地域の実情や利用者のニーズのほか、まちづくりや観光の視点も必要と考えるが、今後の方針はどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
7番	山口初美 議員	1. 店舗リニューアル助成制度を実施できないか	(1) 地域経済を循環させ、業者の仕事を つくるため店舗リニューアル助成 制度(住宅リフォーム助成制度の商 店・工場版)を実施できないか。	市長
		2. 市職員の非正規と正規職 員の賃金格差と労働実態に ついて	(1) 同一労働・同一賃金について見 解を伺う。	市長
			(2) 労働基準法は守られているか。	市長
		3. 高すぎる国民健康保険税 について	(1) 資格証明書の発行数は。	市長
			(2) 短期保険証の期限ごとの発行数 は。	市長
			(3) 短期保険証の未交付は。	市長
			(4) 高すぎる国保税は引き下げが必 要ではないか。	市長
		4. 脱原発について	熊本地震を受け、原子力災害時 の避難計画の見直しが必要と考 える。	市長
			(1) 屋内退避ができない場合の避難 をどうするか。	市長
			(2) 内部被ばくを防ぐためのヨウ素剤 は、事前配布の必要があるのでは ないか。停電や道路の寸断、倒壊し た建物からの救助などで配布するこ とも取りに行くことも困難と考えるが どうか。	市長
			(3) 川内原発には、約束していた免震 重要棟もなく、事故対応できるか不 安だが、どう考えるか。	市長
		5. 学校給食費の無料化につ いて	(4) 高齢者、入院患者、施設入所者、 障がい者など要援護者は避難でき るのか。受け入れ先が受け入れ不 能になったらどうするか。	市長
			(1) 給食費を払えない状況はどうなっ ているか。	教育長
			(2) 保護者の所得の状況はどうなって いるか。	教育長
			(3) 学校給食費の無料化を実施する 考えはないか。	教育長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
8番	17番 田畑純二	<p>市政最高レベルの方針を引き出す質問として</p> <p>1. 合併した旧4町について</p> <p>2. 近隣の自治体間連携について</p> <p>3. 本市の住民の足を守る政策について</p>	<p>(1) 日置市も合併して11年が経過したが、市長は合併効果をどうとらえ、不十分な点にはどう対処しているか。</p> <p>(2) 市長は合併した旧4町の自治力・職員力をどうとらえ、現在の日置市政にどう生かしているか。</p> <p>(3) 市長は都市内分権と合併旧4町のあり方をどう考え、どう実行しているか。</p> <p>(4) 地域コミュニティと合併旧4町のあり方をどう考え、住民自治の強化をどう図っていくつもりか。</p> <p>(5) 合併した旧4町への支援策をどう考え、実行しているか、市長の見解と方針を具体的に知らせ。</p> <p>(1) 自治体間連携による新たなPPP(官官連携)の時代へどう対処していくのか。</p> <p>(2) 地域を救う「選べる広域連携」を今までどう実践し、今後どう強化していくつもりか。</p> <p>(3) 大規模災害と自治体間連携をどうとらえ、市民を大規模災害からどう救っていくつもりであるか。</p> <p>(4) 人口減少社会に対応した水道事業の垂直統合による広域化を本市ではどう図り、今後どう推進していくつもりか。</p> <p>(5) 自治体と医療機関が広域連携し、地域での医療情報の共有をどう実現していくのか。</p> <p>(1) 地域住民の足を守るためにどんな政策をどう実行し、その効果は。また、今後どうしていくつもりか。</p> <p>(2) 地域の特性に応じた公共交通の確保に向けて何をどう実行し、その効果はどうか。</p> <p>(3) 地域公共交通を変革する責任分担と関係者の三位一体をどう考え実践し、強化していくつもりか。</p> <p>(4) 本市での乗合タクシーの現状と課題への対応策は。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>



# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
9番	12番 花木千鶴 議員	1. 消防行政について	(1) 非常備消防団の活動に期待するところも大きいですが、若い団員の確保や勤務時間帯によっては人員が集まりにくいという課題もある。災害時等に訓練経験のある消防団OBの活動で助かったという被災地の話も聞く。本市でも消防団OB会を作るべきではないか。	市長
			(2) 本市吹上浜はサーファーにも人気のスポットが存在し、観光目玉でもあるが、毎年海難事故も多い。そこで、本市の消防署にも潜水隊を置き、日頃の訓練を図るべきではないか。	市長
		2. ひとり親世帯や重度心身障害者医療費助成について	(1) 本市では子ども医療費無料化に取り組んでいるが、ひとり親世帯や重度心身障害児等は対象外である。重複助成はできないといっても、手続き、申請等の簡素化は図られるべきである。薩摩川内市等の様に医療機関との連携で、当事者の負担を軽減できる工夫をすべきと思うがどうか。	市長

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
10番	6番 下御領昭博 議員	<p>1. 農地と農業委員会について</p> <p>2. 地区振興計画について</p> <p>3. 河川と橋梁について</p>	<p>農業委員会等に関する法律が改正され、平成28年4月1日に施行されたことを踏まえ、本市では任期満了となる時点で改正される。</p> <p>(1) 農業委員会法は、具体的にどのように改正されるのか。また、今後のスケジュールについて伺う。</p> <p>(2) 高齢化が進み、後継者不足で農業を辞める人が多いようだが、農地の利用状況はどうか。</p> <p>(3) 農地法の3条許可申請は、ここ数年どのような推移か伺う。</p> <p>1期ハード事業90%、ソフト事業10%、2期ハード事業80%、ソフト事業20%、3期ハード事業50%、ソフト事業50%で3期1年目が終了したが、これまでの結果を踏まえて今後の対応を伺う。</p> <p>(1) ハード事業は、都市部と地方部では格差があると思うがどうか。</p> <p>(2) ソフト事業は、市民にとってどのような効果があったと考えているか。</p> <p>(3) ハード事業、ソフト事業の予算の割合を見直す考えはないか伺う。</p> <p>平成5年に自動車荷重が20tfから25tfに改正され、平成7年には、兵庫県南部地震で耐震強度が見直されたことを踏まえ、以下について伺う。</p> <p>(1) 市で管理している橋梁は、各課で何橋か。また、平成8年から現在まで、昭和51年から平成7年まで、昭和50年以前の架設した橋梁数について伺う。</p> <p>(2) 長寿命化に対する意識をどのようにとらえているか伺う。</p> <p>(3) 点検結果から、橋梁の劣化状況等を評価できる職員について、土木技術職員の不足等から独自では長寿命化、修繕計画の策定が難しい市町村が多いと聴くが、本市ではどうか。</p> <p>(4) 橋梁のほとんどが、二級河川に架設しているのが大部分である。そこで、降雨強度の確率年は何年を採用して計画されているか伺う。</p>	<p>農業委員会 会長</p> <p>農業委員会 会長</p> <p>農業委員会 会長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>

# 一 般 質 問 通 告 書

質問順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問の相手
11番	5番 黒田澄子 議員	1. 今後の市の廃棄物処理の方向性を問う	(1) 生ごみ回収は4年後に完全移行の計画だが、各年度における目標値は。	市長
			(2) 将来的に可燃ごみから生ごみが抜き出された場合、残ったその他のごみについての削減と活用は考えないか。	市長
			(3) 全国的に使用済み紙おむつのリサイクルに取り組もうとする動きがあるが、本市も取り組む考えはないか。	市長
		2. ひとり親及び重度心身障害者医療費助成の申請の簡素化に取り組まないか	(1) 申請の現状・苦情・課題の状況は。	市長
			(2) 薩摩川内市では、市・国保連合会・市医師会の連携で病院や薬局が申請の書類提出に協力して申請が簡素化されているが、同様にできないか。	市長
		3. 高齢化の進む本市の河川愛護作業の在り方を問う	(1) 河川愛護作業における市民からの苦情と課題は。	市長
			(2) 高齢化の現状を鑑み、自治会頼みの愛護作業だけでなく、霧島市が成功している5人以上のグループで申請し、河川清掃を受け持つ形の河川アダプト制度を本市も取り組めないか。	市長
		4. 危険な位置に設置された伊集院中学校のプールは移転新設すべきでは	(1) 急な坂道の途中に、市道を渡って学校敷地外に設置されている伊集院中学校のプールの現状をどう考えているか。	教育長
			(2) 山を抱え、落ち葉、アブやその他の虫も発生して衛生面でも心配されるこの場所が適切と考えるか。	教育長
			(3) プールの改修は計画的に行うとの事であるが、早急に安全な学校敷地内にプールを設置すべきだが、計画はあるか。また、最優先されるべきではないか。	教育長